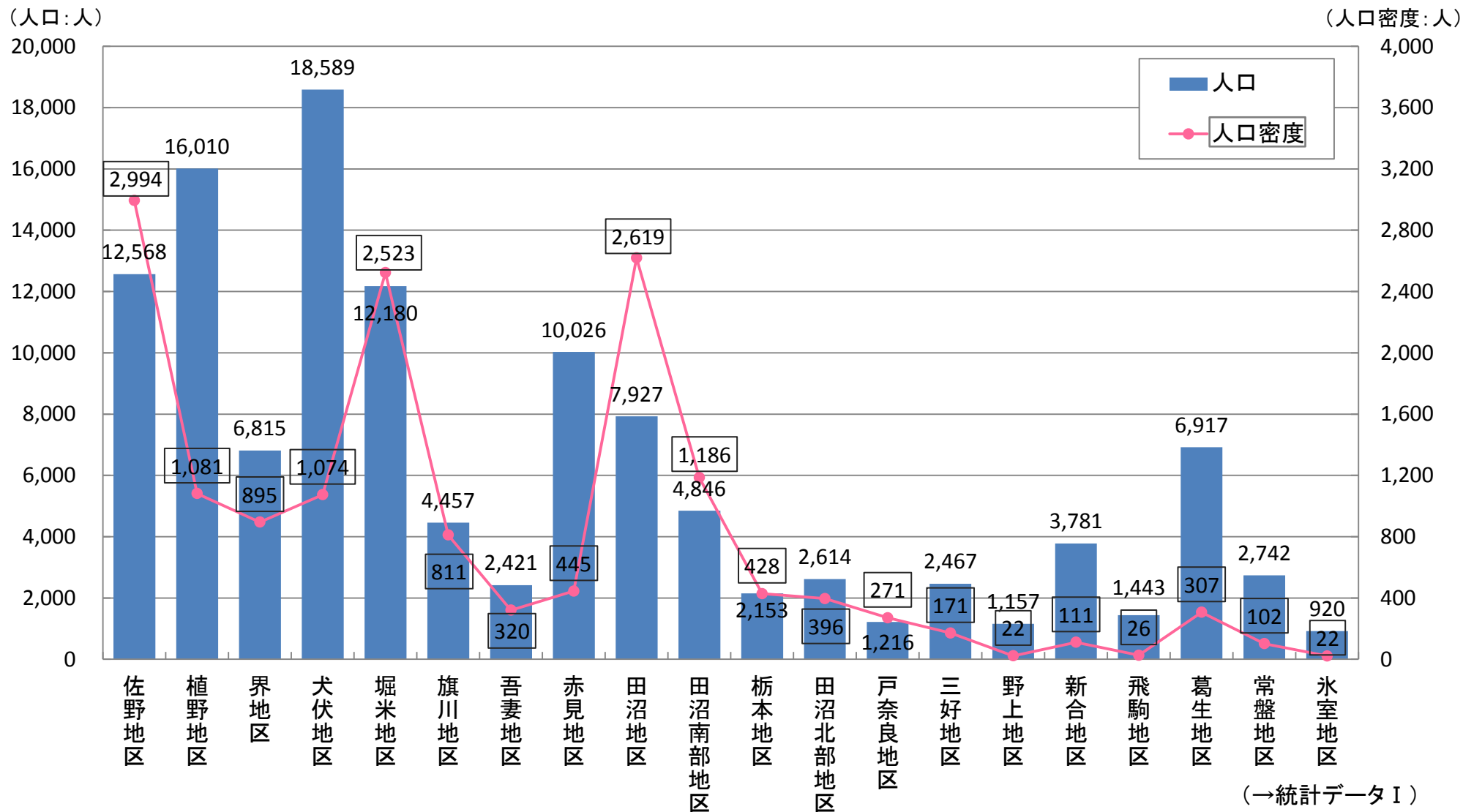


1. 地区別人口および人口密度

佐野市の人口を地区別にみると、犬伏地区が1万8589人（市全体の15.3%、人口密度1,074人）で最も多く、次いで植野地区が1万6010人（同13.2%、1,081人）、佐野地区が1万2568人（同10.4%、2,994人）となっている。一方、氷室地区が920人（同0.8%、22人）と最も少なく、次いで野上地区1,157人（同1.0%、22人）、戸奈良地区1,216人（同1.0%、271人）となっている。

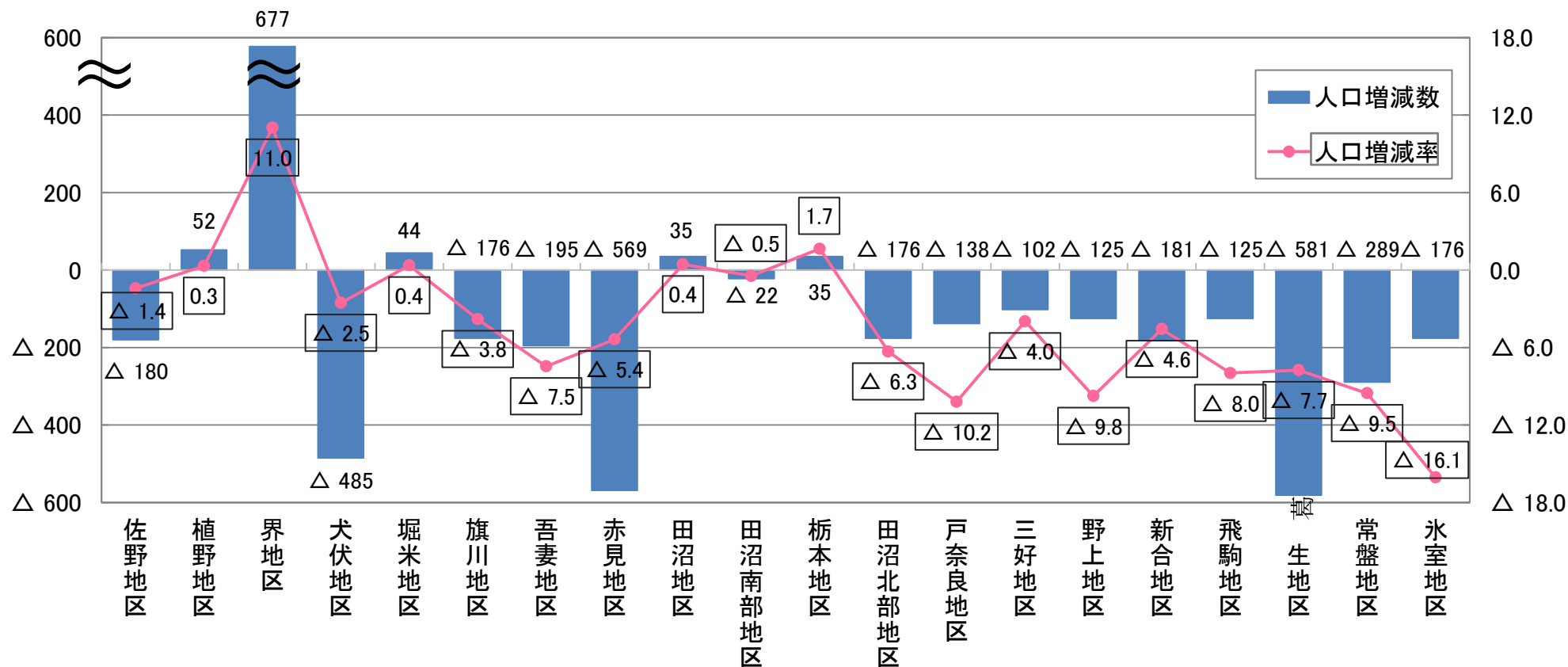


2. 地区別人口増減数および増減率

平成17年から22年の人口増加数をみると、界地区が677人（増加率11.0%）と圧倒的に多く、次いで植野地区52人（同0.3%）、堀米地区44人（同0.4%）と続き、市内20地区中5地区で人口増加となっている。

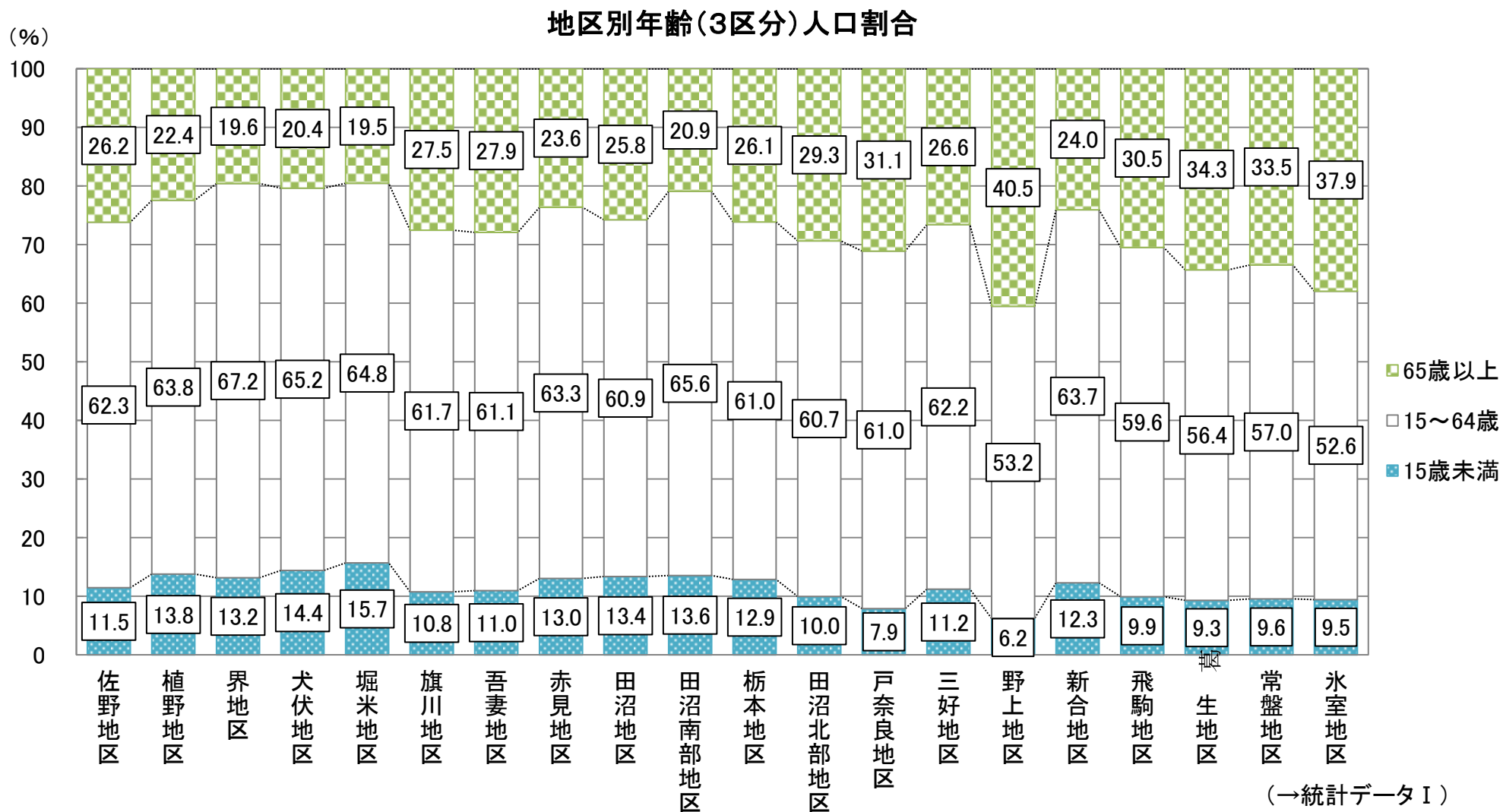
一方、人口減少数をみると、葛生地区が581人（減少率7.7%）と最も多く、次いで赤見地区569人（同5.4%）、犬伏地区485人（同2.5%）と続き、市内20地区中15地区で人口減少となっている。

地区別人口増減数および増減率



3. 地区別年齢(3区分)人口割合

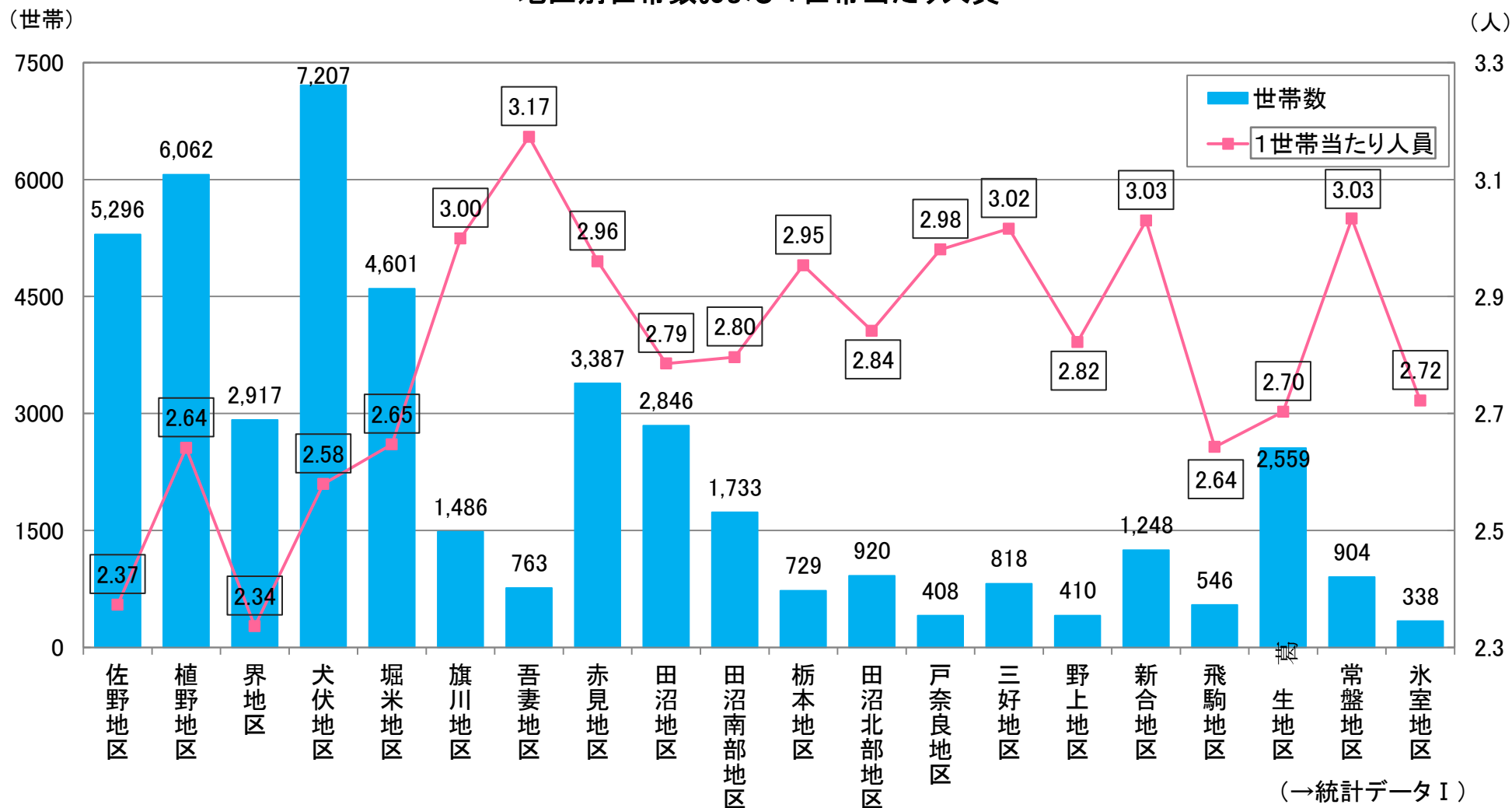
佐野市の年齢（3区分）別人口割合を地区別にみると、15歳未満の人口の割合が最も高いのは堀米地区15.7%（1,900人）、最も低いのは野上地区6.2%（72人）、15～64歳人口の割合が最も高いのは界地区67.2%（4,478人）、最も低いのは氷室地区52.6%（484人）、65歳以上人口の割合が最も高いのは野上地区40.5%（469人）、最も低いのは堀米地区19.5%（2,363人）となっている。



4. 地区別世帯数および1世帯当たり人員

佐野市の世帯数を地区別にみると、犬伏地区7,207世帯（市全体の16.0%、1世帯当たり人員2.58人）と最も多く、次いで植野地区が6,062世帯（同13.4%、2.64人）、佐野地区が5,296世帯（同11.7%、2.37人）となっている。一方、氷室地区が338世帯（同0.8%、同2.72人）と最も少なく、次いで戸奈良地区408世帯（同0.9%、2.98人）、野上地区410世帯（同0.9%、2.82人）となっている。

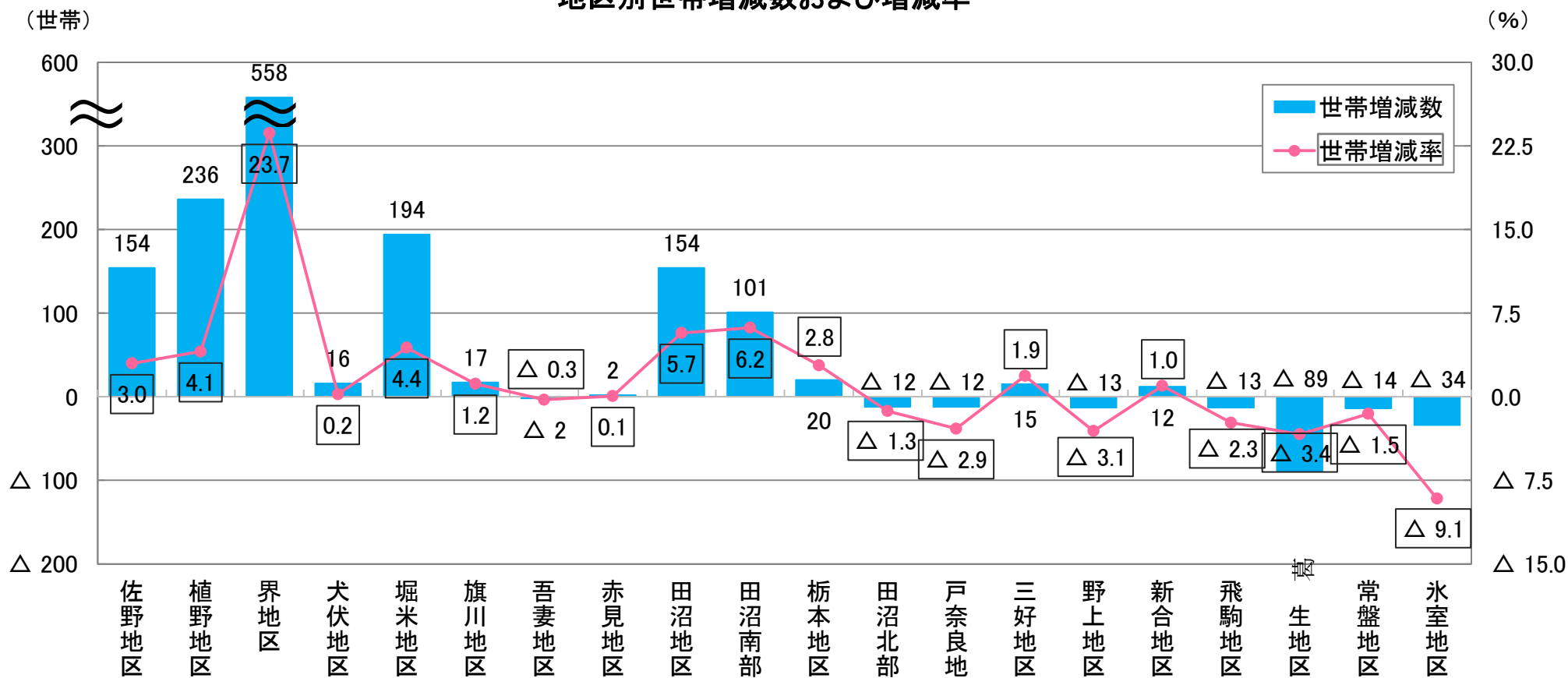
地区別世帯数および1世帯当たり人員



5. 地区別世帯増減数

平成17年から22年の世帯増加数をみると、界地区が558世帯（増加率23.7%）と群を抜いて多く、次いで植野地区が236世帯（同4.1%）、堀米地区が194世帯（同4.4%）となっている。一方、世帯減少数をみると、葛生地区が89世帯（減少率3.4%）と最も多く、次いで氷室地区が34世帯（同9.1%）、常盤地区が14世帯（同1.5%）となっている。

地区別世帯増減数および増減率



(→統計データ I)